

日本ユング心理学会(JAJP)第8回大会
ワークショップのご案内

本大会においても引き続き、認定心理療法士資格をもつ講師陣による5つのワークショップを開催いたします。臨床心理士の資格更新ポイントとしては、ワークショップとプレコンgressへの参加で2ポイント、大会への参加で2ポイントが取得できます。

今後も当学会資格研修委員会では、心理療法の専門資格としての認定心理療法士の位置づけがさらに明確なものとなるよう、種々の研修機会を提供していきたいと考えていますので、この大会のワークショップにも是非奮ってご参加ください。

資格研修委員長 河合 俊雄

1. ワークショップ概要

会 期: 2019年6月1日(土) 9:30~12:00 (受付 9:00~)

会 場: 京都大学吉田キャンパス本部構内 百周年時計台記念館+総合研究2号館(京都市左京区吉田本町)

参加資格: 以下の条件のいずれかを満たす方

参加費:

- ①日本ユング心理学会(JAJP)会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

	A 4月24日までに 納入の方	B 4月25日~5月22日までに 納入の方
会員	5,000円	6,000円
非会員	7,000円	8,000円
非会員(大学院生)	6,000円	7,000円

*当日参加は、定員に余裕のある場合に限り受付いたします。

2. ワークショップ・コースのご案内

A 身近な人を亡くすということは—その心理学的意味を問う—

講師: 角野 善宏(医療法人社団 新川医院)

内容: 人間はいつかにして身近な人の死を見つめていくのか。私たちが生きていく中で、誰しもが経験する親しい人、家族、大切な人の死について、子どもを事故で亡くした母や妻を病で亡くした夫の心理療法過程を通して、その心理学的意味を問う。死は、私たちにとって古から今に至るまで避けて通れない身近であるが、永遠のテーマである。事例からもたらされる夢や語りを用いて、人間にとっての死の意味も真摯に問うてみたい。

事例提供: 自験例を用いるが、このタイトル・概要で事例を出してみたいと思われる方は、お申し込みください。

B 学生相談と現代の意識

講師: 河合 俊雄(京都大学こころの未来研究センター)

内容: 学生相談を行っている、現代の流行の症状・心性が見事に現れてくる。最近では典型的な発達障害が減ってきて、また新たな展開が見られ、同時に訴えの表層化も感じられる。その中で夢やイメージを扱う意味を検討していきたい。

事例提供: 渡部 みもえ氏

C 超越性と遠近法的視点(主体)のあり方からみる病理の重さ

講師: 川崎 克哲(学習院大学)

内容: 精神病圏や発達障害などいわゆる病理が重い患者においては、その心的世界のあり方は神経症患者のそれとは異なっている。この三者の差異を簡単に述べるならば、それぞれ、「内面の形成不全」、「内面の未形成」、「内面の形成成立」となるであろう。これらの差異がどのようなものであり、その意味を理解しておくことはそれらに関わる心理療法にとって重要であると思われる。ちなみに、内面が成立している構造は遠近法の構造と完全に平行であり、また、内面をもつ主体・遠近法的主体の成立は超越性の内在化と密接に関連している。それゆえ、本ワークショップでは、超越性と遠近法をキーワードとして、精神病圏、発達障害、神経症、それぞれの心的世界のあり方、その構造を夢や箱庭、描画から検討していきたい。

事例提供: 村田 知久氏

D 心理療法における「もう一人の私」—セラピストとクライアントとの関係性を考える—

講師: 桑原 知子(京都大学)

内容: 心理療法においては、「相手の身になる」という表現であらわされるような「同一性」という側面と、どうしても相手とは異なりズレが生じるという意味での「他者性」が存在する。それらがどのようにして、癒しという働きにつながっていくのだろうか。今回は、同一性と他者性を併せ持つ「もう一人の私」という切り口から、セラピストとクライアントとの関係性について考えてみたい。

事例提供: 事例を募集します。

E 心理臨床におけるイメージとことば、ことばとイメージ

講師：豊田 園子（豊田分析プラクシス）

内容：心理療法はもともと Anna O. が「おしゃべり療法」と呼んだようにことばを用いることからスタートしていますが、ことばでは表せないことも多いことから、イメージが用いられることでよりこころの理解が進んできたというところがあります。イメージはより感覚的なところで多くの示唆を与えてくれますが、それでもことばによってより理解が進む面もあります。本当にこころに響くことばがあるとすれば、それはイメージと相對するものではなく、ことば自体がイメージの広がりや許すものなのかもしれません。心理療法をする者はことばにも、イメージにも、開かれていることが必要なのでしょう。そのようなことを考えていければと思います。

事例提供：事例を募集したいと思います。夢、箱庭、描画などイメージを用いている事例が望ましいですが、経過の中でイメージ表現がそんなにたくさんないものでも構いません。

3. ワークショップの参加申し込み手続き

1. 当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) 及び、右記 QR コードの申し込みフォームよりお申し込みください。登録が完了しましたら自動返信メールが送信されます。（申し込みフォームは、パソコン・スマートフォン対応）

*自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局 (office@jajp-jung.info) までご連絡ください。

2. 自動返信メールの内容をご確認の上、2週間以内に、本書類に同封の郵便払込取扱票の各項目の参加費額に○を付け、合計金額をご納入ください。

2週間を過ぎて参加費の納入がなかった場合、申し込みを取り消しさせていただく場合がありますのでご注意ください。

- ▶ 2019年4月24日（水）までにご納入の場合は、**A**の参加費をご納入ください。
- ▶ 2019年4月25日（木）～5月22日（水）にご納入の場合は、**B**の参加費をご納入ください。
- ▶ 郵便払込取扱票での参加費納入期限：2019年5月22日（水）

★A参加費 5月7日（火）まで延長

*振り込みの際には、必ず参加者ご本人の名義でお手続きください。

*郵便局に備え付けの払込取扱票に必要事項をご記入の上、納入されても結構です。

郵便振替口座：00980-2-195483

加入者名：「日本ユング心理学会年次大会」（ホユングシリガッカイゼンタカイ）

*郵便払込取扱票の記入見本は当学会ホームページに掲載しております。

- ※ 参加費の納入をもって参加の予約完了とみなします。
- ※ 本ワークショップと同日午後のプレコンgres両方の参加をもって1日の研修と見なし、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通りポイントが付与されます。参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。
- ※ プレコンgresの内容がご覧になれる大会第一号通信見本は、当学会ホームページに掲載していますので、非会員・大学院生の方はそちらも併せてご参照ください。
- ※ 参加証は当日、会場の受付にてお渡しいたします。事前の送付はございませんので、ご了承ください。

4. ワークショップ事例発表申し込み手続き

ワークショップにて事例発表をされる方は、以下の要領で申し込んでください。

1. 発表資格は、ワークショップ参加資格に準じます。
2. 参加申し込みと同様の申し込みフォームよりお申し込みください。
「発表者情報：氏名、所属、連絡先等」、「ワークショップ事例発表申込：①発表希望のワークショップ、②発表予定題目と200字程度の概要、③液晶プロジェクター使用の有無」に必要事項を入力してください。
※発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。
※ノートパソコンは必ずご持参ください。Macの方は、コネクタもご持参ください。
3. 申し込み期限：2019年2月28日（木）
4. ワークショップ事例発表の採否についてのご連絡は、2019年4月初旬に通知いたします。